

## 第112回 埼玉県内企業経営動向調査－2020年7～9月期－

調査対象：県内企業 542社      調査方法（期間）：アンケート方式（7月21日～8月25日）  
 回答企業：206社（回答率 38.0%）      業種別内訳：製造業 115社 非製造業 91社  
 調査分析方法 BSI方式 各設問に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

調査時点	為替レート(円/ドル)	日経平均株価(円)
(前回) 2020年5月19日	107.40	20,433.45
(今回) 2020年8月25日	106.00	23,296.77

### 概況

埼玉県内企業の業況感は、新型コロナウイルス感染症の打撃を受けて、大幅な落ち込みが続いている。

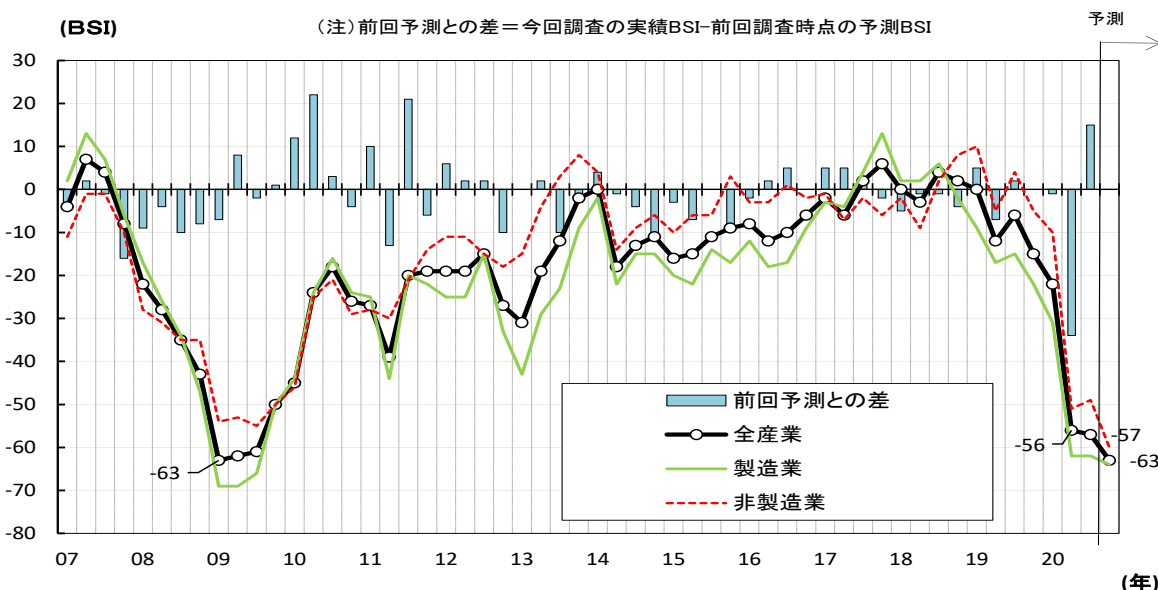
今回調査（2020年7～9月期）の業況判断BSIは-57と、大幅な悪化となった前回4～6月期調査（1～3月期-22 → 4～6月期-56）並みのマイナス水準となっている。

業種別にみると、製造業、非製造業ともに前回調査並みのマイナス水準となっている（製造業：前回-62 → 今回-62、非製造業：前回-51 → 今回-49）。社会・経済活動の再開に伴い、飲・食料品製造、娯楽・飲食サービスの一部の企業では持ち直しているものの、国内・海外需要の低迷持続に加え、新型コロナウイルスの感染再拡大の影響などから、製造業・非製造業とも多くの業種で依然として厳しい状況が続いている。

先行き（2020年10～12月期）については、-63とマイナス幅が拡大する見通し。

製造業、非製造業の多くの業種で、新型コロナウイルス感染症の収束が見込めない中で、景気の先行き不透明感を指摘する企業が多くみられ、悪化が続くとの見方にある。（製造業：今回-62 → 先行き-64 非製造業：今回-49 → 先行き-60）

図表1. 業況判断BSIの推移



1. 業況判断 BSI（「良い」－「悪い」） ～ 大幅な悪化が続いている ～

埼玉県内企業の業況感は、新型コロナウイルス感染症の打撃を受けて、大幅な落ち込みが続いている。

今回調査（2020年7～9月期）の業況判断 BSI は-57 と、大幅な悪化となった前回 4～6 月期調査（1～3 月期-22 → 4～6 月期-56）並みのマイナス水準となっている。

業種別にみると、製造業、非製造業ともに前回調査並みのマイナス幅となっている（製造業：前回-62 → 今回-62、非製造業：前回-51 → 今回-49）。社会・経済活動の再開に伴い、飲・食料品製造、娯楽・飲食サービスの一部の企業では持ち直しているものの、国内・海外需要の低迷持続に加え、新型コロナウイルスの感染再拡大の影響などから、製造業・非製造業とも多くの業種で依然として厳しい状況が続いている。

図表2. 規模別・業種別業況判断 BSI

	2019年				2020年				10～12月 (先行き)
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月		
							前回予想	今回	
全体	0	-12	-6	-15	-22	-56	-72	-57	-63
規模の小さい企業	-3	-13	-14	-17	-25	-52	-70	-50	-61
規模の大きい企業	2	-10	2	-12	-18	-61	-75	-64	-64
製造業	-9	-17	-15	-22	-31	-62	-77	-62	-64
規模の小さい企業	-8	-16	-25	-25	-36	-58	-77	-59	-65
規模の大きい企業	-9	-18	-2	-18	-26	-67	-77	-67	-63
素材型	-13	-16	-6	-13	-33	-63	-71	-61	-63
紙加工品等	-56	8	9	18	-36	-60	-60	-80	-70
化学・プラスチック・ゴム製品	-13	-13	18	27	0	-38	-63	-17	-42
鉄鋼・非鉄金属	-11	-25	-11	-33	-44	-83	-83	-80	-70
金属製品	30	-43	-20	-50	-50	-100	-75	-86	-71
その他素材型	-20	-20	-27	-38	-27	-44	-78	-60	-70
加工組立型	-2	-27	-32	-36	-48	-68	-95	-71	-72
一般機械器具	31	-9	-30	-9	-40	-100	-100	-75	-75
電気・情報通信機械器具	-25	-70	-40	-10	-30	-44	-89	-55	-64
電子部品・デバイス	-22	-36	-88	-90	-70	-71	-100	-60	-60
輸送機械	-20	-20	-20	-44	-67	-86	-86	-100	-100
精密機械	29	14	33	-20	-20	-20	-100	-60	-60
生活関連型	-7	7	-14	0	25	-50	-40	-38	-33
飲・食料品	13	13	0	13	50	-17	-17	0	-17
印刷・同関連業	-29	0	-29	-17	0	-100	-75	-71	-50
その他製造業	-67	0	40	-67	0	0	-67	-50	-75
非製造業	10	-5	4	-5	-10	-51	-67	-49	-60
規模の小さい企業	4	-10	2	-5	-11	-45	-61	-38	-56
規模の大きい企業	16	0	6	-5	-9	-56	-73	-61	-65
一般建設	11	13	17	10	5	-29	-57	-21	-47
住宅建設	14	-14	-17	20	-40	-20	-40	-33	-33
卸売	0	-20	0	22	-7	-62	-77	-57	-71
小売	10	-21	-5	-5	-26	-42	-63	-63	-58
運輸・倉庫	25	0	13	-17	0	-45	-55	-73	-73
不動産	0	0	0	-29	-33	-60	-60	-33	-50
その他非製造業	13	13	10	-29	0	-81	-94	-53	-68

2. 売上（生産）高 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業、非製造業ともに、「減少」超幅が縮小～

製造業では、素材型、加工組立型、生活関連型の業種で、また、非製造業でも、一般建設、卸売、小売、その他非製造業（娯楽・飲食）で、売上（生産）が改善している。前回調査との比較では、製造業に比べて非製造業の改善幅が大きくなっている。

図表 3 売上（生産）高 BSI

	(前々回調査) 20年1～3月期	(前回調査) 4～6月期	(今回調査) 7～9月期	(先行き) 10～12月期
全体	-16	-59	-24	-17
製造業	-28	-59	-30	-11
非製造業	-1	-59	-16	-25
規模の小さい企業	-22	-55	-32	-22
規模の大きい企業	-8	-63	-14	-11

3. 経常利益 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業、非製造業ともに、「減少」超幅が縮小～

製造業、非製造業の多くの業種で、経常利益の「減少」超幅が縮小している。前回調査との比較では、製造業に比べて非製造業の改善幅が大きくなっている。

図表 4 経常利益 BSI

	(前々回調査) 20年1～3月期	(前回調査) 4～6月期	(今回調査) 7～9月期	(先行き) 10～12月期
全体	-15	-58	-29	-22
製造業	-26	-54	-37	-17
非製造業	-1	-61	-19	-30
規模の小さい企業	-20	-53	-37	-31
規模の大きい企業	-8	-63	-20	-13

4. 海外需要 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業で「減少」超幅が縮小～

製造業では、素材型、加工組立型を中心に「減少」超幅が縮小している。

図表 5 海外需要 BSI

	(前々回調査) 20年1～3月期	(前回調査) 4～6月期	(今回調査) 7～9月期	(先行き) 10～12月期
全体	-4	-26	-15	-11
製造業	-8	-35	-18	-10
非製造業	4	-11	-7	-14
規模の小さい企業	1	-21	-6	-10
規模の大きい企業	-9	-32	-24	-12

5. 生産（販売）設備 BSI（「過剰」－「不足」） ～製造業で過剰感が続いている～

製造業では、素材型の鉄鋼・非鉄金属で、加工組立型の一般機械器具、輸送機械で過剰感が続いている。非製造業では、卸売、小売での不足感の強まりから、「不足」超に転じている。

図表 6 生産(販売)設備 BSI

	(前々回調査) 20年1～3月期	(前回調査) 4～6月期	(今回調査) 7～9月期	(先行き) 10～12月期
全体	0	11	8	5
製造業	4	14	14	11
非製造業	-5	6	-1	-2
規模の小さい企業	3	9	4	5
規模の大きい企業	-3	12	12	5

6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」） ～製造業で「過剰」感が続いている。一方、非製造業では「不足」超幅が拡大～

製造業では、加工組立型業種を中心に過剰感が続いている。一方、非製造業では、小売、運輸・倉庫の不足感の強まりから、「不足」超幅が拡大している。

図表 7 雇用人員 BSI

	(前々回調査) 20年1～3月期	(前回調査) 4～6月期	(今回調査) 7～9月期	(先行き) 10～12月期
全体	-29	3	0	-4
製造業	-10	17	17	11
非製造業	-51	-12	-21	-23
規模の小さい企業	-25	-2	-9	-11
規模の大きい企業	-33	8	10	3

7. 資金繰り BSI（「楽」－「苦」） ～「楽である」超に転じている～

前回調査では2014年10～12月期以来の「苦しい」超に転じたが、足元は小幅ながら「楽である」超に転化。

図表 8 資金繰り BSI

	(前々回調査) 20年1～3月期	(前回調査) 4～6月期	(今回調査) 7～9月期	(先行き) 10～12月期
全体	7	-2	5	-1
製造業	1	0	3	-4
非製造業	14	-5	8	3
規模の小さい企業	0	-1	5	-6
規模の大きい企業	15	-4	5	4

以上